

教科横断型授業学習指導案

日 時 令和 4 年 5 月 1 9 日 (木) 第 4 校時
福井県立武生高等学校 探究文科理科 2 年 1 組
指導者 教諭 山崎泰代 (英語) 伊藤裕貴 (美術)

1 単元名

Element II Lesson2 Stay Hungry, Stay Foolish (啓林館)

2 本時の指導目標

Steve Jobs の Apple 社製品に対するこだわりと芸術性について学び、芸術と社会・自分との関連性について考え、英語で表現する。

3 単元について

【英語】教科書の単元で Steve Jobs が若者に向けて語った生き方について学ぶ。(前時まで)

【美術】Jobs と Apple 社製品の芸術性について学び、自分の生き方について考える。(本時)

【英語×美術】学んだ内容から、芸術と社会・自分との関連性について考え表現する。(本時)

4 本時の展開 (55分授業)

| 指導過程 | 生徒の学習活動 | 指導上の留意点など | 主な評価の観点 |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------------------|
| 英語分野 (10 分) 目標の確認 内容理解 | 本時の目標を確認する Apple のロゴについて英語で学ぶ | 解説する | 観察 |
| 美術分野 (30 分) ビデオ視聴 | ・ Apple 社製品の芸術性を知る 芸術とは何か考える ペアで話し合い ・ Calligraphy について学ぶ ・ 日本の若者について考え STEAM 教育の意義を学ぶ ・ Jobs と自分の生き方について考える | ビデオを視聴させる 自分の生き方を考えさせる | 積極的に話し合いに参加しているか |
| 英語分野(15 分) 「芸術は社会の役に立つべきだ」 | ・ 芸術の役割を考える ・ 芸術と社会のかかわりについて考え、英語で表現する | | 英作文 |

生徒感想

(生徒感想)

・私はアップル社の 아이폰 を使っているけど、 아이폰 の形とか機能性について考えたことがなかったの、今日の授業で 아이폰 の凄さや開発者である スティーブ・ジョブズ 自身の凄さや生き様を学ぶことができて良かったと思います。自分の好きなことをしながらたくさんの人に認められたり、成功したりと言うのはとても難しいと思うし、それを実際に行動に移すのは怖いと思うけど、そういうふうになったらすごくかっこいいなと思いました。将来の夢を決めるときに給料とか安定しているかとかばかり気にする人がいると思うけど、スティーブ・ジョブズのように自分のしたいことや自分が愛していることを最優先にできたらいいなと思いました。実際、私もそういうところばかり気にしてしまうので、この話を少しでも自分の人生に活かせたらいいなと思いました。

・私が今回の授業を受講して驚嘆したことは、Apple 製品の強すぎる拘りである。以前授業で、スティーブ・ジョブズについて学び、"Stay hungry, Stay foolish" という概念を学び、僕はそれは成功までの過程の話であると考えていた。勿論そのような意味もあるのだろうが、授業で紹介された Apple 製品の Apple 社の拘りを見て成功したあとでもその概念は使われ続けているという事実がとても衝撃的であった。これにより気づいたことは、学校での勉強はただ受験を通過するための手段ではない、生活を豊かにするものなのだと感じた。つまり過程が大事なのではなく（大事ではあるが...）、継続させ成功をさらにより良い成功へと繋げることがもっとも大事なのだなとこの付属的に行われた授業を受けて感じた。

芸術が社会にとって役に立つものだという主張に対し、僕は賛成できる。なぜなら、あの世界で一番高いタワーであるブルジュ・ハリファをもっとしても技術がすごいから使われているというわけではないと思うからだ。技術だけがすごくても人間には感性があるので無意識に芸術点も考慮している。つまり、物理的に自立しているということが成り立っているからすごいのではなく、芸術的な要素を踏まえてすごいと人間は感じるのだと思う。僕自身あの建物はシンメトリー的で美しいと感じる。僕はブルジュ・ハリファの建物構造をよく知らないのですが僕の意見に過ぎないが、あれだけ高い建物は無駄であると思う。でも、芸術的な要素が相まってすごいと感じるのだと思う。世の中にはこのようなものが溢れていて繊細にならないといけないなと思った。

